

# 妙法を求めて―七面山参拝のおすすめ

(神奈川県延寿寺寺庭婦人)

大森 ゆき 忍

## お題目三唱

この度、三回目の教化学研究発表大会に参加させて頂きまして、有り難うございます。

第一回目は、平成元年より法華和讃にご縁をいただきまして、管内の寺庭婦人、檀信徒の方々と、お寺の枠を越えての交流が始まりました。今日では数カ所ではございますが、全国の方々とのご縁が広まってまいりました。

又、来年平成十八年には、京都本山立本寺、横川の定光院、比叡山延暦寺の日蓮聖人のご尊像のお祀りされている大講堂にての法華和讃の集いを予定致しております。

全国各地より結集された方々と心を一つに、ご奉詠させて頂く事が出来れば、日蓮聖人への何よりのご報恩になると思えます。

第二回目は、自坊の活動について発表させて頂きました。

お題目総弘通運動が始まりました。一ヶ寺、一信行会作りが推進され、宗門より玄題旗を先頭に信行会活動が始まりました。

◆先代の母から続けさせて頂いております寒修行、約一ヶ月間で五百軒近くのお宅を、お参りさせて頂きます。

◆霊跡参拝では、日蓮聖人のご誕生の地から、ご入滅までのお寺をお参り。

◆お会式参拝では、池上本門寺より身延山へ、誕生寺より清澄寺へ、他近隣のご寺院のお会式には、毎年合わせ

て十四ヶ寺を参拝しております。

◆立教開宗、鎌倉開教七百五十年の多くの行事、大会に参加。

◆七面山の参拝、ご来光の遙拝の時には、玄題旗を掲げてお題目をお唱え致します。ご来光のエネルギーを一杯受けて、この玄題旗は信行会活動の先頭に掲げて約二十年、私のお寺にとっては大切なお宝（財）でございます。

本題に入らせていただきます。

「妙法を求めて、七面山参拝のおすすめ」

毎年、檀信徒と共に、七面山の参拝を致しております。

日頃では、なかなか体験できない大自然の中で、一步一步お題目をお唱えしながら励まし合って、頂上にたどりついた時の喜び！霊山ならではの厳しさの中からわきあがる感動！不思議な安らぎ、人生と重ね合わせて信仰の一番大切な心得を、自然に学ぶ事が出来ると思います。

「お題目はありがたいですよ」といくら語っても、伝える事はなかなかむずかしいものです。

でも、七面山に初めてご縁をいただいた方が、「登りながら苦しい時には、自然にお題目が口から出てまいります。お陰様で楽になりました、お題目は不思議なお力があるのですね」と、自然にわかっていただけるのです。

お寺には、宗派を問わず、心の病、身の病の方々がたずねて来られます。

今まで信仰にご縁がなかった人に限って「お願いしたらすぐに願いが叶う、ご利益は…、こんなにやっているのに」と自分勝手な神頼みの方が多いいのです。

私のお寺の住職は「ハイハイ、すぐに拝んであげますよ」とは申しません。

まず、よく話を聞いて、この苦しみの原因をたずね、自らの反省、ご先祖さまのご供養、感謝をこめて二十一日間

お経とお題目を一緒に唱えていただきます。

「困った時の神だのみ」といった言葉があるように、継続して信仰を続ける事は努力が必要です。

二十一日間の行を終えた後は、皆さん明るいお顔になりまして、「お陰様で心が安らぎました、お題目にご縁をいただけて良かった！」と云われます。

不思議なことに、すぐに良い結果をいただける方は、必ずご両親かご先祖さまの中で、熱心にご信仰をされた方がおられるのです。功德を積まれているんですね。

身延山、七面山におさそいして参拝する気持ちになっていただければ、後は諸天善神、七面大明神さまにおまかせ致します。

素直な心で、一生懸命登らせていただき、七面大明神さまのご宝前でのご開帳は、誰もが感激致します。

又、七面山を開山なされました、池大神さまのお堂にも特別ご開帳をしていただいております。

池大神さまは修験道の開祖、役の小角さま（役の行者）といわれ、七面大明神さまがお山にお祀りされる以前から、一の池のそばにご奉安されておりましたそうです。

安永五年（一七七六）今から約二百三十年前のお会式の時、七面山に火災が起こりまして、立派なお堂もご尊像もほとんどが焼き尽くされ、残ったものは釣り鐘と、池大神さまのご尊像だけでしたそうです。

残念ながら池大神さまの事はあまり伝えられていないようです。

七面大明神さまにご縁をいただいた方は、池大神さまにも感謝の真心を捧げる事が大事ではないでしょうか。今年は全員で法華和讃を詠わせていただきました。

身延・七面山の参拝には、ご新盆をお迎えになられた、ご家族の方達もお誘い致します。

身延山久遠寺にてご先祖、ご新盆の仏さまの法要をつとめてから七面山に参ります。

二班に分かれ日帰り組は住職が引率し、七面山組は副住職と私と娘が参ります。

今年は私自身足が痛かったので大変不安でしたが、副住職が皆さんの引率をしつかり出来るようになってまいりましたので、私は安心して皆さんの後について行きました。

檀信徒の方々が無事に参拝成就されるには、神仏のご守護をいただけますように、一心にお祈りを致します。

お陰さまで、お天気が良くても悪くても、毎年全員無事に感激の参拝をさせていただきます。

皆様の感想を昭和六十三年より発行しております、延寿寺信行会だよりから抜粋して、この度七面山参拝感想文集を新たに編集致しました。

十代から七十代の方々、親子、兄弟、ご夫婦での参拝の感想が綴られております。

住職と檀信徒の方々の協力のお陰で立派な感想文集が出来上がりました。これから登られる方々の参考になれば幸いです。

「妙法を求めて、七面山参拝のおすすめ」をこれで終わらせていただきます。

お題目三唱